

**【現状】H21.3 事業化: (仮)奈良IC ~ 郡山下ツ道JCT (L=6.3km)**  
**未事業化: 木津IC ~ (仮)奈良IC (L=6.1km)**

**【要望】「合併施行方式」によるH30年度新規事業化(国直轄道路事業+有料道路事業) (L=12.4km)**



**大和北道路開通による時間短縮効果**

京奈和自動車道を利用すると

京都～高野山間: **16分**短縮 (約10%減)  
 [153分→137分]

東大寺～関空間: **14分**短縮 (約16%減)  
 [87分→73分]

※H27道路交通センサス調査結果 (12時間上下線平均旅行速度を基に算定)

## 整備効果 ①渋滞の緩和/物流の効率化

- 奈良市内を通過する交通が、大和北道路に転換され、奈良市内を中心に周辺地域を含めた一般道の交通渋滞が緩和するとともに物流効率が向上
- 京都と和歌山間の約120kmを結ぶ京奈和自動車道の全線が開通すれば、近畿道等に集中している交通の転換が図られ、大阪・都市部の交通集中が緩和、近畿圏内の安定的な輸送の確保に繋がる

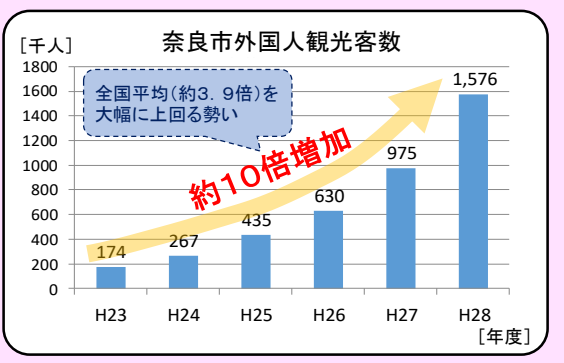
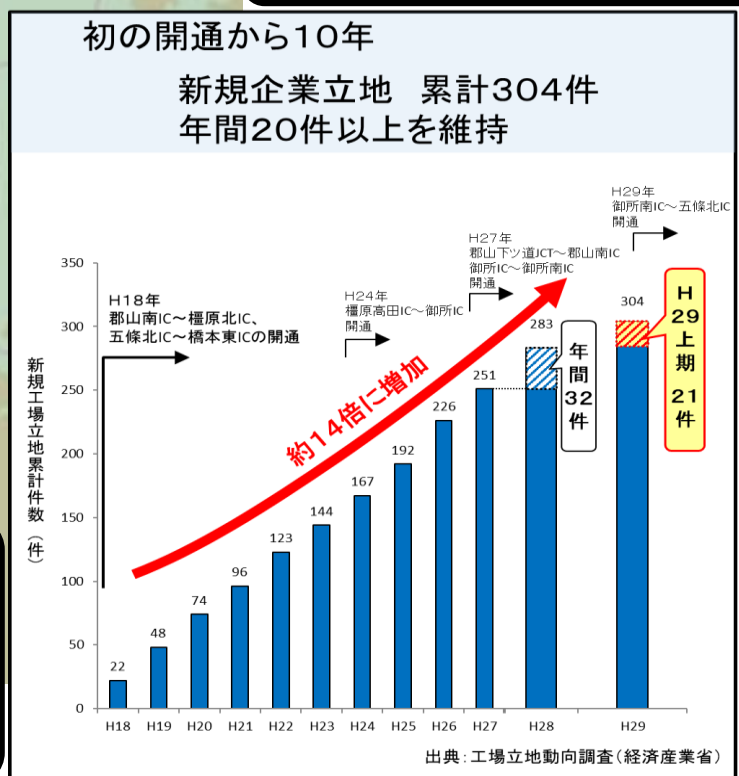
## 宅配ドライバーの声

大和北道路が整備され、奈良市内の渋滞が緩和すれば、時間指定配達や再配達等の宅配業務におけるサービス・質の向上に繋がるとともに、**ドライバーの負担軽減**となり、働き方改革・担い手の確保に繋がる。(奈良市内 宅配業者)

京都から大阪南部、和歌山の拠点には、**第二京阪・近畿道・阪和道**を經由しているが、**京奈和道**が全線開通すれば事故や渋滞の際に**ルート**の選択ができる。(京都府 食料品製造業者)

## 整備効果 ②世界遺産の観光周遊の向上

- 観光地間の移動時間短縮・定時性確保により、奈良市だけでなく県全域への観光周遊が向上し観光振興に寄与



## 整備効果 ③災害・事故に強い道路ネットワークの確保

- 災害・事故時に、近畿自動車道や阪和自動車道、西名阪自動車道と相互に**代替機能**を発揮

**製造業・運送業者の声**

阪和道等が災害・悪天候・事故等で通行できない際は、**京奈和道が代替路線として機能**するため、今後、重要な路線になることは間違いない。(奈良県 製造業者)

## 観光業者の声

外国人観光客数は、5年で約10倍に増加したが、奈良市内では渋滞が多く**観光地間の移動に無駄な時間がかかる**ことから、観光地での滞在時間が短く、観光周遊の範囲が奈良公園周辺と限定的となっている。(奈良県内 観光協会・旅行者)